

○事業所名	こども発達支援事業所 イノセント			
○保護者評価実施期間	令和8年2月15日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和8年2月14日		～	令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特別支援教育士（元小学校教諭）の訪問支援員が事業所を訪問し、これまでの学校現場での経験と実践に基づいた専門的な視点から支援を行っています。訪問先事業所との連携を大切にしながら、お子様一人ひとりの特性に応じた支援方法を提案しています。	お子様の状態や特性を丁寧にアセスメントし、その結果に基づいてニーズに合った支援方法を提案しています。訪問先の先生方が抱える困り感に寄り添いながら、現場で無理なく実施できる具体的な支援方法を検討し、支援に活かして頂ける様にしています。	今後も、お子様の成長や環境の変化に応じて計画案を柔軟に見直し、最適な支援が提供できるよう努めます。保護者様、訪問先事業所様との共通認識を図りながら支援が出来る様に努めてまいります。
2	併設事業（放課後等デイサービス）を併用利用されているお子様については、学校での生活と連動した支援や取り組みを行う事が出来ます。	学校での様子や課題を踏まえ、事業所での支援が繋がる様に調整しています。学校の先生方との情報共有や支援の方向性を支援に繋げています。	学校での日中の学びと事業所での支援が日々の生活に繋がる様に、学校の先生方との情報共有を行い一貫した支援やサポートが行える様に努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の提供回数が十分に確保が難しい。	訪問支援を担当できる支援員が現在1名のため、訪問支援の回数（月1回）がどうしても限られている。	訪問支援の回数には限りがありますが、中でも支援の質を維持・向上させることを重視しています。学校との連携やご家族との情報共有をこれまで以上に密に行い、関係者が共通理解を持ちながら支援を進められる体制を整えていきます。限られた訪問回数の中でも、より良い支援を継続して提供できるよう努めてまいります。